

第2学年2組 音楽科学習指導案

日 時 平成27年12月21日（月）第5校時
在籍数 男子15名 女子14名
指導者 教諭 駒崎玲子

1 題材名 日本のうたを楽しもう

2 題材について

(1) 児童の実態

(2) 題材について

わらべうたは、子供たちの中で自然発生的に生まれて、今に伝えられたものであり、我が国の伝統的な音感覚に根ざした音楽である。

歌と遊びが一体となっているため、友達と関わり合いながら楽しむことができる。また、日本語のもつリズム、拍節感などから音楽を感じ取って歌ったり、体の動きを工夫したりすることができる。

本題材では友達と一緒に遊びながら歌う楽しさや喜びを味わう活動を通して、我が国に伝承されているわらべうたのよさを味わわせたい。

音楽づくりの学習においては、わらべうたに使われている音階の音を使った音遊びや旋律づくりをしながら、我が国の音楽を無理なく感じる力を付けさせたい。

ここで学習したことは、中学年、高学年での学習に系統的・発展的に繋がっていく内容であると考えられる。

(3) 学習指導要領との関連について

本題材では、我が国のいろいろな音楽に親しむため、学習指導要領の A 表現 (1) 歌唱ア、(3) 音楽づくりイ、B 鑑賞アを指導するものとする。

3 題材の目標

- (1) 日本に伝わるわらべうたに興味・関心をもち、歌に合わせて体を動かしたり楽しんで聴いたりする学習に進んで取り組もうとする。
- (2) 言葉のリズム、旋律、フレーズからわらべうたの特徴を感じ取り、与えられた音で自分なりの表現を工夫したりする。
- (3) 拍の流れを感じ取り、声や体の動きを合わせて歌ったりわらべうたに合う伴奏を演奏したりする。
- (4) わらべうたの楽しさやよさを感じ取りながら聴く。

4 教材について

(1) ずいずいずっころばし（手遊びうた）

日本に古くから伝わる指遊びであるが、地方により旋律、音階、歌詞などが異なるものが伝わっている。

歌詞にはストーリー性があり、言葉のリズムや抑揚、フレーズが特徴的である。

友達と、拍の流れやリズムによって繰り返し歌ったり、手遊びしたりして、言葉のリズムの面白さや音楽的な感覚を身に付けさせることができると考え、選曲した。

(2) あんたがたどこさ（てまりうた）

まりつき遊び歌で、全国的に歌われているわらべうたの一つである。「せんば（船場）」とは、熊本市の船場地区という説と、埼玉県川越市の仙波山を指すという説がある。

この歌は問答歌で、動作を工夫して、体を動かしながら歌わせたい。

さらに、歌詞の内容や旋律から、言葉の掛け合いや反復の面白さを実感させることもできる教材であると考え、選曲した。

(3) なべなべそこぬけ（遊びうた）

歌いながら遊んだり伴奏をつくったりすることで、自然に我が国の伝統的な音感覚に親しむことができる教材である。

ここでは、2人組になって手をつなぎ、歌に合わせて体を動かして遊んだり、たくさんの友達と関わったりしながら、拍の流れによって歌わせ、我が国独特の音感覚を味わわせたいと考え、選曲した。

5 学習指導要領の指導事項と〔共通事項〕ア・イの関連及び具体的な学習活動

指導事項	歌唱ア・・・ 範唱を聴いて歌ったり、階名で模唱したり暗唱したりすること 音楽づくりイ・・・ 音を音楽にしていくことを楽しみながら、音楽の仕組みを生かし、思いをもって簡単な音楽をつくること 鑑賞ア・・・ 楽曲の気分を感じ取って聴くこと	
〔共通事項〕		
ア	旋律 拍の流れ	リズム
イ	反復	
具体的な学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ わらべうたの旋律と反復する言葉を合わせて歌う。 ・ わらべうたの旋律によって、体を動かしながら遊ぶ。 ・ 体を動かしながら歌い、繰り返し遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉のリズムを感じて動きを工夫して歌う。 ・ 反復する言葉をリズムによって歌う。

6 題材の評価規準

	音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
題材の評価規準	①わらべうたに親しみ、歌ったり歌に合わせて体を動かしたり、遊んだりする学習に進んで取り組もうとしている。 ②言葉のリズム、旋律、フレーズなど、わらべうたの面白さを感じ取り、声を合わせて歌う学習に、進んで取り組もうとしている。	①言葉のリズム、旋律、フレーズを聴き取り、与えられた音で自分なりの伴奏をいろいろと試し、どのような伴奏にするかについて自分の思いや意図をもっている。	①拍の流れを感じ取り、音楽に合わせて体を動かしながら歌っている。 ②与えられた音でわらべうたに合う伴奏を演奏している。	①音楽に合わせて歌ったり遊んだりして、わらべうたの楽しさを感じ取って聴いている。
1時	①			①
2時	②		①	
3時		①		
4時		①	②	

7 指導と評価の計画（全5時間）

時	◆ねらい○学習内容・学習活動	○指導上の留意点 ☆評価規準と評価方法
1	◆友達とかかわり合いながらわらべうたを歌い、わらべうたに親しむ。 ○音楽を聴いて、わらべうたに親しむ。 ・「ずいずいずっころばし」を聴き、歌う。 ・全員で、指遊びなどしながら歌う。 ○拍の流れを感じ取って、歌ったり遊んだりする。 ・「あんたがたどこさ」を聴き、問答歌であることに気付く。	○しっかり声を出して、拍の流れにのって歌いながら遊べるようにする。 ☆わらべうたに親しみ、歌ったり歌に合わせて体を動かしたり、遊んだりする学習に進んで取り組もうとしている。 (関① 表情観察・行動観察) ○問答歌(掛け合い)であることに気付かせ、どの文字がポイントか確認する。 ○グループに分かれて歌わせ、反復の楽しさにも気付かせる。 ☆音楽に合わせて歌ったり遊んだりして、わらべうたの楽しさを感じ取って聴いている。 (鑑① 表情観察・発言内容)
2 (本時)	◆言葉のリズム、旋律、フレーズを感じ取り、歌い方を工夫する。 ○「ずいずいずっころばし」の拍の流れを感じ取って表現する。 ・「ずいずいずっころばし」のフレーズに合わせて体を動かす。	○スキップ、ジャンプなどフレーズを感じ取って動いている児童を紹介し、全体で同じ動きをしながら広めるようにする。

<p>非公開 ※撮影</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体の動きと言葉の反復を合わせて歌う。 『ちゅうちゅうちゅう』 ○「あんたがたどこさ」の拍の流れを感じ取って表現する。 ・「あんたがたどこさ」を歌い、リズムやフレーズを体で感じ取る。 ・まりつき歌であることを知る。 ・『さ』の文字のところを工夫して歌ったり、体を動かしたりする。 ・グループに分かれて工夫する。 ・発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○反復言葉遊びで、リズムを感じ取るようにする。 ○リズムやフレーズを体で感じ取れるように、いろいろな歌い方をする。 ☆言葉のリズム、旋律、フレーズなど、わらべうたの面白さを感じ取り、声を合わせて歌う学習に、進んで取り組もうとしている。（関② 行動観察） ○拡大歌詞カードで言葉とフレーズを確認しながら歌うようにする。 ○『さ』の文字のところの表現を工夫できるようにする。 ○約束事を確認し、活動させる。 ○自分たちの思いを伝えられるように、発表の仕方も工夫させる。 ○発表した内容を全体で共有できるようにする。 ☆拍の流れを感じ取り、音楽に合わせて体を動かしながら歌っている。（技① 演奏観察）
<p>3</p>	<p>◆わらべうた「なべなべそこぬけ」に合う伴奏をつくる。（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「なべなべそこぬけ」を歌う。 ・二人組で遊ぶことを知り、体験する。 ○歌に合わせて伴奏のリズムをリズム打ちする。 ・リズム譜を見ながらリズム打ちをする。 ○伴奏づくりをする。 ・ミ、ソ、ラの3音から音を選ぶ。 ・音を出し試しながら、伴奏をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○拍の流れを感じ取って歌ったり、体を動かしたりして、楽しみながら歌うようにする。 ○二人組だけでなく、人数を増やすなどしていろいろな遊び方を工夫する。 ○拡大楽譜を見ながら、リズム打ちができるようにする。 ○拍の流れを感じ取りながら、歌に合わせてリズム打ちができるようにする。 ○実際に音を聴きながら、音が選べるようにする。 ○つくった伴奏を一人一人が音で確かめられるように、楽器を用意しておく。 ☆言葉のリズム、旋律、フレーズを聴き取り、与えられた音で自分なりの伴奏をいろいろと試し、どのような伴奏にするかについて自分の思いや意図をもってい

		る。 (創① 行動観察・演奏聴取)
4	◆わらべうた「なべなべそこぬけ」に合う伴奏をつくる。(2)	
	<p>○伴奏づくりをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伴奏づくりの続きに取り組む。 ・他の児童と聴き合い、意見交流する。 <p>○わらべうたに合わせてつくった伴奏を演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つくった伴奏を楽器で演奏する。 ・歌に合わせて、つくった伴奏を演奏する。 	<p>○前時までの活動を振り返り、演奏してみる。</p> <p>○他の児童と交流し、感じたことなどを伝え合うようにする。</p> <p>○歌うグループと楽器を演奏するグループに分かれて聴き合うようにする。</p> <p>○楽器を変えたり、前奏をつくったりして、十分に楽しめるようにする。</p> <p>☆与えられた音でわらべうたに合う伴奏を演奏している。(技② 発言内容・演奏聴取)</p>

8 学習指導について

(1) 本時の目標

「わらべうた」の言葉のリズム、旋律、フレーズを感じ取り、自分たちの歌い方を工夫するようにする。

(2) 展開

○学習内容 ・主な学習活動	○指導上の留意点 ☆評価規準と評価方法
<p>○「声づくり」で挨拶</p> <p>○リズム打ちをする。</p> <p>○前時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ずいずいずっころばし」のフレーズに合わせて体を動かす。 ・体の動きと言葉の反復を合わせて歌う。 	<p>○口形に気を付けるように声掛けをしながら、児童の様子を把握するようにする。</p> <p>○本時の活動に関連するリズムを中心に打たせるようにする。</p> <p>○フレーズを感じ取って動いている児童を紹介し、全体で同じ動きをして、その動きのよさに気付くようにする。</p> <p>○反復言葉遊びで、リズムを感じ取るようにする。</p> <p>○リズムやフレーズを体で感じ取れるように、いろいろな歌い方をする。</p> <p>☆言葉のリズム、旋律、フレーズなど、わらべうたの面白さを感じ取り、声を合わせて歌う学習に、進んで取り組もうとしている。</p> <p>(関② 行動観察)</p>

<p>○本時のめあてを知る。</p>	
<p>「あんたがたどこさ」にぴったりの歌い方を見つけてみよう。</p>	
<p>○「あんたがたどこさ」の拍の流れにのって歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あんたがたどこさ」を歌い、リズムやフレーズを体で感じ取る。 ・まりつき歌であることを知らせる。 <p>・『さ』の文字のところを工夫して歌ったり、体を動かしたりする。</p> <p>○グループに分かれて歌い方を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工夫の仕方を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・他のグループと交流する。 <p>○発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表の仕方を確認する。 	<p>○拡大歌詞カードで言葉とフレーズを確認しながら歌うようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊び歌であることを理解させるようにする。 <p>○『さ』の文字のところに着目するようにし、どのように歌うかを工夫させるようにする。</p> <p>○約束事を決め、確認してから活動させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>①言葉のリズムにのって歌う。 ②遊びながら歌える。</p> </div> <p>○他のグループと聴き合ったり、意見交流したりできるようにし、表現方法の工夫につなげられるようにする。</p> <p>○自分たちの思いを伝えられるように、発表の仕方も工夫させる。</p> <p>○発表した内容を全体で共有できるようにする。</p> <p>☆拍の流れを感じ取り、音楽に合わせて体を動かしながら歌っている。</p> <p>(技① 演奏観察)</p>

<p>「十分満足できる」(A) と判断される状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ○反復や問いと答えなどの音楽の仕組みを、いろいろな表現方法で試そうとしている。 ○聴き合いや意見交流をしながら、わらべうたのよさを感じている。 <p>「努力を要する」(C) と判断される状況への働きかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教師と共に体を動かしたり、歌ったりしながら、音楽の仕組みを感じ取らせるようにする。 ○活動が滞るグループには、他のグループの工夫を紹介し、交流を促したり、発想のヒントとなるような問いかけをしたりする。

(3) 板書計画

ずいずいずいずいずい
ごまみそ ずい
ちやつぽに おわれて
トッピンシャン
ぬけたら ドンドコシヨ
たわらの ねずみが
こめ くて チュウ
チュウ チュウ チュウ
おっとさんが よんでも
おっかさんが よんでも
いきつこなしよ
いどの まわりで
おちやわん かいだの
だれ

わらべうた こどもの歌
あそび歌

見つけたひみつ

①ゆびあそびをしながら歌える。
②くりかえしの言ばがある。

かんがえたこと
ことばに合ううごき

「あんたがたどこさ」にぴったりな歌い方を見つけてみよう。

A B A B A
あんたがた どこさ
ひごどこさ
ひごどこさ
くまもとさ
くまもとさ
せんばさ
せんばさ
せんばやまには
たぬきが おってさ
それを りょうしが
てっぽうで うってさ
にてさ やいてさ
それを このはで
ちよいと かぶせ

見つけたひみつ

①
②

やぐそくごと
①歌のことばに合わせる。
②あそびながら歌える。



学級全体でまとめた内容